



上渚滑小だより

学校教育目標☆☆ 「めあてに向かって進んでチャレンジする子」
 ☆☆考える学習者 ☆☆知る学習者 ☆☆感じる学習者 ☆☆表現する学習者

令和5年度学校評価（後期）の結果 校長 泉 次郎

上渚滑小学校では教育活動その他の学校運営について、その達成状況や達成に向けた取り組みの適切さ等を評価することにより、改善に向けた方策を立て、上渚滑小学校の学校教育目標の実現を目指しています。「めあてに向かって進んでチャレンジする子」を育てるという目標が全ての教育活動とつながり、計画→実践→評価→改善という流れで進めています。年2回実施し、学校改善につなげていきます。12月に実施しました後期の学校評価の概要をお知らせします。

《1 教職員の自己評価》

「今年度の重点」を中心に日常の教育活動について振り返り、18の設問について評価しています。その結果、評価の高かったものとして、次の13項目があげられます。

	評価項目	評価平均 (4点満点)
1	日々の授業において、他者の意見を取り入れながら、自分の考えをまとめさせ、言葉で表現する場面を設定し、指導を行いましたか。【今年度の重点目標】	4.00
2	日々の係活動や行事で、他者の意見を取り入れながら、自分の考えや思いをまとめさせ、言葉で表現する場面を設定し、指導を行いましたか。【今年度の重点目標】	3.50
3	研究主題『自分の考えを表現する力の育成～子どもが頑張る授業づくり～』を意識し、授業の中で端末を活用して授業づくりを行っていましたか。	3.67
4	児童自らが自分の考えを持てるように、工夫し授業づくりを行っていましたか。	4.00
5	学習リーダーの役割を意識させ、学習リーダーを中心とした授業づくりを行っていましたか。	3.60
6	将来の職業を考えさせたり、中学校への進学を見据え、発達段階を考慮し、指導を行いましたか。	3.50
7	いじめや登校渋りなど、児童が困ったときに相談できるような関係作りに努めていましたか。	3.71
8	早寝・早起き・朝ごはんなど規則正しい生活を送るように家庭への働きかけや児童への指導を行っていましたか。	3.57
9	学校のきまりや交通ルールを守るように指導していましたか。	4.00
10	児童への指導上、必要な場合は適宜連絡を行うなど、保護者との信頼関係づくりに努めていましたか。	3.83
11	家庭で復習ができるように授業内容と関連した宿題をほぼ毎日出していましたか。	3.80

12	学級通信等で、学級の実態や課題、活動のねらいや協力してほしいことなど保護者や児童がわかりやすいように表現等を工夫し、伝えていましたか。	3.80
13	新型コロナウイルス感染症に対する取組や指導など学校の統一した取組をきちんと行っていましたか。	3.88

また、評価結果から改善への検討を要するものは、ありませんでした。

《2 保護者アンケート》

	評価項目	評価平均 (4点満点)
1	学校は、学校だよりをはじめとした各種通信など（ホームページ、学級通信、PTA総会、学級懇談会など）で教育方針や子どもたちの様子をわかりやすく伝えていましたか。	3.71
2	学校は、日々の教育活動の中で、児童が自分の考えや思いを言葉で表現することができるように指導をしていましたか。【今年度の重点目標】	3.71
3	学校は、習ったことの定着や予習など、授業内容と関連した宿題を出してましたか。	3.57
4	学校は一人一台端末(クロムブック)を活用し、学習内容が定着するように授業を進めていましたか。	3.57
5	学校は、児童自ら課題を見つけて家庭学習に取り組めるように指導してましたか。	3.14
6	お子さんは、友達と仲良くしたり、協力して学校生活を送ることができましたか。	3.86
7	お子さんは、家庭や学校で読書をする習慣が身につけていましたか。	2.29
8	お子さんは、嫌なことがあったり、困ったときに先生に相談することができましたか。	3.14
9	お子さんは、早ね・早起き・朝ごはんなど規則正しい生活を送ることができましたか。	2.29
10	お子さんは、家でのきまり（ゲーム時間や就寝時間など）や交通ルールを守って生活を送れましたか。	2.57
11	お子さんは、交通ルールを守っていましたか。	3.29
12	学校は、新型コロナウイルス感染症への対応（授業スタイルや換気など）についてわかりやすく伝えていましたか。	3.57

（分析）

・評価が比較的に良かったものは、設問1、2、3、4、6、12です。ご家庭での協力もあり、よい評価となりました。次年度以降もねらいを常に意識し、取組を続けたいと考えています。

・課題がみられるものは設問7、9、10です。

①設問7の読書習慣については、前期の結果もあまりよくありませんでした。学校で端末の活用が進む一方で、朝読書など、読書活動の時間確保が難しくなる現状があります。学校運営協議会でのご意見を参考に、読書の楽しさを感じるためにはどのようにしたらよいか、学校図書館に広いスペースを確保し、リラックスして過ごせる空間づくりを行うなど、読書習慣の定着のための方策を次年度以降も、粘り強く継続していきます。ご家庭でもお子さんへの声かけや一緒に読書するなど、ご協力をお願いします。

②設問9の規則正しい生活習慣は、学習や運動、健康の維持に大きな役割を担っており、健やかに成長していく上で大切です。発達段階に応じて、今後も学校でも指導をしていきますので、ご家庭でもご指導

※裏に続きます

をよろしくお願ひいたします。

③設問10の家庭でもきまりを守る意識は、児童本人が自立していく上で大切です。楽しいことへの誘惑に負けずに生活習慣を確立できるように、次年度も家庭との連携を模索して取り組んでいきます。今後ともご指導・ご協力をお願いいたします。

～保護者からの質問について～ ※以下のような内容での質問がありました。

「困った時に相談することが難しいようで、相談相手に悩んでいるようである。」 (回答) 児童の困り感に寄り添えるように心がけていますが、なかなか伝わらない場合もあることも事実です。小規模校の長所を生かして、児童の特性や実態を踏まえて関係作りを進めていき、上渚滑小学校の職員の誰かが相談窓口になれるように、今後も職員全体で進めていきます。
「テストで間違ったところや苦手なところを重点的に指導してほしい。」 (回答) 間違ったところや苦手なところをもう一度取り組むことは大切なことですが、児童が苦手なことに前向きに取り組んでいくことが難しい場合もあります。前向きに取り組めるように児童の意欲を高め、粘り強く今後も指導していきます。

その他に「勉強をとて丁寧にも教えてもらって助かっている。」との意見もいただきました。今後も保護者の意見に耳を傾けながら、よりよい教育活動を推進していきます。

《3 児童アンケート》

	評価項目	評価平均 (4点満点)
1	授業の発言で、自分の考えが伝わるように工夫しましたか。 【今年度の重点目標】	3.42
2	委員会や係活動で、自分の考えや思いが伝わるように工夫しましたか。 【今年度の重点目標】	3.33
3	授業が始まる前に、準備をして着席して待つことができましたか。	3.50
4	学習リーダーのときに、進んで授業に取り組みましたか。	3.36
5	クロムブックを使うことにより、授業の内容はわかりましたか。	3.75
6	宿題は忘れずに取り組むことができましたか。	3.33
7	家庭学習に進んで取り組むことができましたか。	3.00
8	友だちとなかよくしたり、協力したりすることができましたか。	3.00
9	いやなことがあったり、困った時に、先生に相談することができましたか。	3.18
10	体育の授業や休み時間に進んで運動することができましたか。	3.67
11	早ね・早起き・朝ごはんなど規則正しい生活を送ることができましたか。	3.08
12	学校のきまりや交通ルールを守ることができましたか。	3.83
13	学校や家で進んで本を読むことができましたか。	2.58

(分析)

- 評価が比較的良かったものは、設問3、5、10、12です。次年度以降も児童1人1人が健やかに成長できるように、評価結果に安心することなく継続して指導していきます。
- 課題がみられるものは設問13です。

①設問13の読書習慣については、前期結果と同様に課題が継続している状況です。紋別市図書館の職員の訪問時には読み聞かせをしていただくなど、本の楽しさを伝える活動を継続して行っています。児童

自ら本を手にとろうと、読書が楽しいと思える活動が大切だと考えます。次年度以降も読書活動の充実を図っていきます。

《4 学校運営協議会から》

先日2月21日(水)に学校運営協議会を開催しました。その中で学校評価結果に関わってのご意見をご紹介します。

①テストで苦手な所を指導するのは学校と家庭で連携して取り組むことが大切であり、学校のできる範囲で対応して欲しい。

(今後に向けて)

われわれ上渚滑小学校職員は「めあてに向かって進んでチャレンジする子」を育てるという教育目標のもと、校長が年度当初に示した重点目標を達成するために様々な教育活動を実践してきました。今年度は保護者や地域の方々のご協力のもと様々な教育実践を積み重ねることができました。次年度も日々の教育活動における学校や各学級担任の思いや願い、考えを誠実に伝えていくとともに、児童の思いや保護者の思いや願いを受けとめていきたいと考えています。そのために、様々な機会を通じて、保護者の皆様と連携を深めるように努めてまいります。年度末を迎えますが、次年度も上渚滑小学校の活動にご理解・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

今年度のいじめの概要について

今年度、年2回のいじめ調査や日常の学校生活から児童や保護者からの情報提供によるいじめと疑われる件数は3件ありました。そのうち学校がいじめと認知した件数はありませんでした。児童遊びのトラブルが2件、校外施設で該当者が不明なことが1件となっています。今後も教職員の研修を行い、児童間のトラブルがいじめにつながったり、いじめが起きないような学級風土づくりや早期発見、全職員での見取りを継続して行っています。

「令和5年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果について

令和5年6月に実施した「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果が届きました。小規模校のため、概要のみお知らせいたします。

中休みや昼休みの運動習慣、マラソン大会や雪遊び等、運動する機会も確保できており、結果にも良い影響が出ています。また“運動が好き”や“体育が楽しい”と感じる児童が多いです。

☆調査結果を分析し、児童一人一人に付けたい力を明確にし、今後の教育活動に生かしていきたいと思ひます。